

一 般 質 問 事 項

(令和6年第1回幸田町議会定例会)

質 問 者	件 名 ・ 要 旨	答 弁 者
1 野坂 純子	1 災害時ペット同伴避難について <p>近年、ペットは家族の一員であるという意識が浸透しつつある。また過去の震災では、ペットが自宅に取り残され、いったん避難した飼い主がペットを避難させるために自宅に戻り災害に巻き込まれたケースや、飼い主とペットがはぐれて放浪状態となり、その後繁殖・増加するなどの問題も生じている。 これを受け、環境省が「同行避難」を推進するガイドラインを策定した。</p> <p>(1) 本町にはどれくらいのペットが把握されているか。</p> <p>(2) 本町は災害時同行避難することをどのような形で推進されているか。</p> <p>(3) 今現在ペットを避難できる場所はどのように考えられているか。</p> <p>(4) 色々な問題で避難所に入れない場合、ペット同行同伴、専用避難所の開設についての考えは。</p> <p>(5) いざという時のトラブルを少なくするためにも、今後ペット同行避難訓練の予定は。</p> <p>(6) 本町のペット避難ガイドラインの作成を。</p> <p>(7) やむを得ず避難所へ行けないためペットと車中避難のできる場所はどこに設けられるのか。</p>	町長 担当部長
	2 健康こうた21計画について <p>(1) 健康こうた21計画とは。</p> <p>(2) どのような成果があったか、また問題点や改善案は。</p> <p>(3) ラジオ体操のメリットについて。 (コストがかからない、5分くらい、その他には)</p> <p>(4) 介護施設など利用している高齢者はリズム体操など教えてもらってやっているが、行っていない人(利用していない人)がフレイル予防として日々、体を動かすために町をあげて、ラジオ体操を行ってはどうか。</p>	町長 担当部長
	3 学校の健康診断の配慮について <p>(1) 先日、文部科学省より学校の健康診断について、全国に通知が出されたが、どのような内容か。</p> <p>(2) 本町の現状は。また、職員側、校医側から見た問題点は。</p> <p>(3) それらに対する解決策は。</p> <p>(4) 本町の健康診断の実施状況の周知を。</p>	町長 教育長 担当部長

<p>2 岩本 知帆</p>	<p>1 子ども達が安心して生活するために、小児科に受診しやすい環境整備を</p> <p>幸田町内の小児科で予約外での受診がしにくい状況である。子どもは発熱やケガなど突発的な受診が多くあり、子ども達が安心して生活するために幸田町内における医療体制について問う。</p> <p>(1) 幸田町内における医療体制など。</p> <p>(2) 小児科の一医院が業務の縮小をしたことで本町の対応の変化は。</p> <p>(3) 岡崎市との医療圏でみた小児科受診の対策など。</p> <p>(4) 受診しやすい環境整備と周知を。</p> <p>(5) 受診前に相談できる環境整備を。</p>	<p>町長 担当部長</p>
	<p>2 飼い主のいない猫の避妊・去勢手術補助の現状と今後の課題は</p> <p>地域で猫の一生を見守る地域猫への支援状況と課題を問う。</p> <p>(1) 避妊・去勢手術補助金の執行率と飼い主がいない猫の現状など。</p> <p>(2) 次年度に向けての課題など。</p> <p>(3) 地域猫について町が補助する支援内容の周知を。</p>	<p>町長 担当部長</p>
<p>3 鈴木 久夫</p>	<p>1 名豊道路四車線化並びに名浜道路早期着手の促進について</p> <p>令和6年度末に幸田町内を含め二車線での全線開通となるが、車の流入も増え、交通渋滞の頻度も多くなると予想される。今後四車線化に向け、国交省に強く要請していく必要があると考える。名浜道路についても、桐山ICにアクセスしていく関係上早期整備に向け要請していくべきかと考える。現状や、今後の取り組みについて問う。</p> <p>2 主な都市計画道路の整備促進について</p> <p>都市計画決定されてから、永年の間整備が進んでいない道路もある。今回は、次の6路線について問う。 安城蒲郡線、上六栗線、芦谷蒲郡線、芦谷高力線、野場福岡線、生平幸田線。</p>	<p>町長 担当部長</p>
<p>4 長谷川 進</p>	<p>1 幸田駅前将来構想はどうなるか</p> <p>幸田町の玄関である幸田駅前通りの再開発計画は有るのかを問う。</p> <p>(1) 町民の長年の夢であった、平成21年9月号広報こうたに掲載された、幸田駅前開発計画図案は廃案になったのか。</p> <p>(2) 将来に向けての幸田駅前再開発資金確保計画はあるのか。</p>	<p>町長 担当部長</p>

(長谷川 進)	<p>(3) 平成21年9月の幸田駅前再開発構想図建て直しと町民への再公表を願う。</p> <p>(4) 次期総合都市開発計画に重要議案として検討を願う。</p>	
	<p>2 災害発生時を想定した実践型防災訓練の在り方は</p> <p>災害発生時の防災訓練について問う。</p> <p>(1) 町全体のフローで初動からの実践型訓練をやるべきでは。</p> <p>(2) 幸田町全23区で区ごとに初動から避難までの訓練は実施しているのか、区にお任せしての訓練か。</p> <p>(3) 区での防災訓練マニュアルがない為、発生時の初動からの防災訓練が出来ない。マニュアル作成が急務では。</p> <p>(4) 町として区単位から広域(学区)幸田町へと初動からの情報と行動をどうすべきかのしくみを作り、標準化すべきでは。</p> <p>(5) 標準化したしくみで幸田町全体実践型防災訓練が重要では。</p>	町長 担当部長
	<p>3 元気な高齢化社会を築くには</p> <p>高齢者への更なる支援活動を問う。</p> <p>(1) 高齢者支援の更なる充実を図るために、定期的にニーズの把握はしているのか。</p> <p>(2) 高齢者への更なる活動助成金制度・施設環境改善支援の充実を図り、元気に繋がる幸田町高齢者の文化とスポーツの祭典(オリンピック)企画提案を望む。</p> <p>(3) 高齢者の幅広い知識・技術を伝承するステージを広げ生きがいに繋がるサポートと施策を。</p>	町長 担当部長
5 田境 毅	<p>1 交通事故の抑止について</p> <p>子育て世代には、安全・安心な住みよい街づくりが期待されています。交通事故の発生要因は様々であり、事実を基にした、的確な対策が望まれています。交通事故の抑止に関する施策を中心に質問します。</p> <p>(1) 愛知県では令和5年9月定例会において、交通死亡事故抑止に向けて、交通安全対策を推進することが示されました。その内容は。</p> <p>(2) 公安委員会は、どのような考え方や判断で信号灯器のLED化や標識と標示の更新を行うのか。</p> <p>(3) 本町で設置や更新が望ましいと認識されている信号灯器の対象数は。</p> <p>(4) 道路管理者や警察に対して危険の水準を明確に示されているか。など</p> <p>(5) 交通事故につながる要因等を、どのように働きかけているのか。など</p>	町長 担当部長

<p>(田境 毅)</p>	<p>(6) 生活道路の交通安全対策として「ゾーン30」が導入されています。近隣の導入状況は。など</p>	
	<p>2 地方の担い手確保について</p> <p>愛知県では、令和5年12月定例議会において、首都圏から愛知県へ移住支援を推進することが決定しました。地方の担い手を確保するための施策を問う。</p> <p>(1) 首都圏から愛知県へ移住支援の内容は。</p> <p>(2) 本町の人口増加を実現した好循環のしくみを基に、どのように対応される考えか。</p> <p>(3) 県制度を最大限活用して、担い手確保を実現するための施策立案をすべきでは。</p>	<p>町長 担当部長</p>
<p>6 都築 幸夫</p>	<p>1 安全安心な自転車活用の推進を</p> <p>持続可能な社会に向けた自転車の活用を一層図るために、令和3年5月に「第2次自転車活用推進計画」が閣議決定された。幸田町では「第2次自転車活用推進計画」の取り組みは、あまり進んでいないのが現状である。</p> <p>町民の安全安心な自転車活用推進を、町はどう進めるのかを問う。</p> <p>(1) 現在の幸田町の自転車利用者数は。</p> <p>(2) 町内の自転車ヘルメットの装着率は。</p> <p>(3) 一般成人(19～64歳)にもヘルメット購入補助を。</p> <p>(4) 幸田駅や相見駅の駐輪場に屋根設置を。</p> <p>(5) 歩道での歩行者の安全な通行確保のために、事故をふせぐための歩行者と自転車の分離は検討されているか。</p> <p>(6) 相見通りの歩道は幸田小学校児童の通学路となっている。この歩道は歩行者専用だが、自転車が通常走行している。児童の安全を守るために、歩行者と自転車の分離が必要ではないか。</p> <p>(7) 町道芦谷高力線の菅田交差点から幸田消防署間の歩道は、自転車歩行者専用であり、幸田高校生の自転車通学路になっている。歩道路面の凹凸が激しく安心して走れない。歩道整備を。</p> <p>(8) 町内の一級河川(広田川、舟山川、赤川、相見川、尾浜川)の堤防を舗装整備し、自転車利用のネットワーク「水と緑のネットワーク」の形成を。</p> <p>(9) 「第2次自転車活用推進計画」で進める「自転車ネットワーク計画」に、幸田町は参画しないのか。</p>	<p>町長 担当部長</p>

<p>(都築 幸夫)</p>	<p>2 野場横落線のJR交差プラン確定を</p> <p>現在未接続の野場横落線JR交差プランを、今後どう進めるのかを問う。</p> <p>(1) 野場横落線のこれまでの経緯は。</p> <p>(2) JR交差プランのJRとの交渉経緯は。</p> <p>(3) 広田川改修に伴う新観音橋の架け替えの予定は。</p> <p>(4) 新観音橋-丸田踏切-前田交差点ルートを、JR交差プランとしてどう思われるか。</p> <p>(5) 野場横落線のJR交差プランを、実現可能性のある案で確定する時期ではないか。</p>	<p>町長 担当部長</p>
<p>7 藤本 和美</p>	<p>1 安全で環境との調和のとれた太陽光発電の設置について</p> <p>石川県の震災では、経済産業省から「破損した太陽光パネル」への注意喚起がされた。傾斜地での土砂災害や環境破壊も全国的に問題になっている。</p> <p>(1) 本町での太陽光パネルの設置状況を伺う。</p> <p>(2) 災害時の対応や、その周知方法を伺う。</p> <p>(3) 廃棄物処理問題について伺う。</p> <p>(4) 地域の安全と自然を守るため、全国各地で270以上の条例が公布されているが、本町の考えを伺う。</p>	<p>町長 担当部長</p>
	<p>2 児童虐待の状況と支援体制について</p> <p>「子どもは宝」であるが、児童虐待はなくなっていない。「189(いち はやく)」の啓蒙で相談件数は増加しており、全国では21万9000件が報告されている。</p> <p>(1) 本町での児童虐待の状況を伺う。</p> <p>(2) 啓発活動や予防的介入方法を伺う。</p> <p>(3) 要保護児童と保護者への支援方法を伺う。</p>	<p>町長 担当部長</p>
<p>8 丸山千代子</p>	<p>1 町長の政治姿勢と町行財政運営について</p> <p>町行政の推進にあたり、町長は「今は種をまく時だ」として積極的に事業に取り組んでいるが、一方でこのままでは財政が破綻する事態が危惧されることから以下のことを問う。</p> <p>(1) 令和6年度当初予算編成方針について。</p> <p>(2) 令和6年度当初予算編成に係る歳出削減についての見解。</p> <p>(3) 施政方針説明について。</p> <p>(4) 財政状況について、現在の見通し。</p>	<p>町長 担当部長</p>

<p>(丸山千代子)</p>	<p>2 町職員の働き方とハラスメントゼロについて</p> <p>「助けてください」と愛知県人事委員会に職員から切実な訴えが提出された。町職員の働き方とハラスメントゼロについて問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 職員の勤務時間と有給取得について。 (2) 時間外勤務、長時間勤務の実態報告を。 (3) サービス残業のとらえ方と過労死の危険性について。 (4) 職員へのパワーハラスメントの実態について。 (5) アンケート調査の実施。 (6) 被害への対応。 (7) ハラスメントゼロの取り組みと宣言を。 	<p>町長 副町長 担当部長</p>
	<p>3 若者支援について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 若者が集える場の提供の必要性について。 (2) ひきこもりの実態調査を。 (3) 相談支援体制の取り組みと支援について。 	<p>町長 担当部長</p>